



収穫は多いが、 働き人が少ない



深谷福音キリスト教会
井桁 久志



「また群衆が飼う者のない羊のように弱り果てて、倒れているのをごらんになって、彼らを深くあわれまれました。そして弟子たちに言われた、『収穫は多いが、働き人が少ない。だから、収穫の主に願って、その収穫のために働き人を送り出すようにしてもらいなさい。』」マタイによる福音書九章三六〜三八節

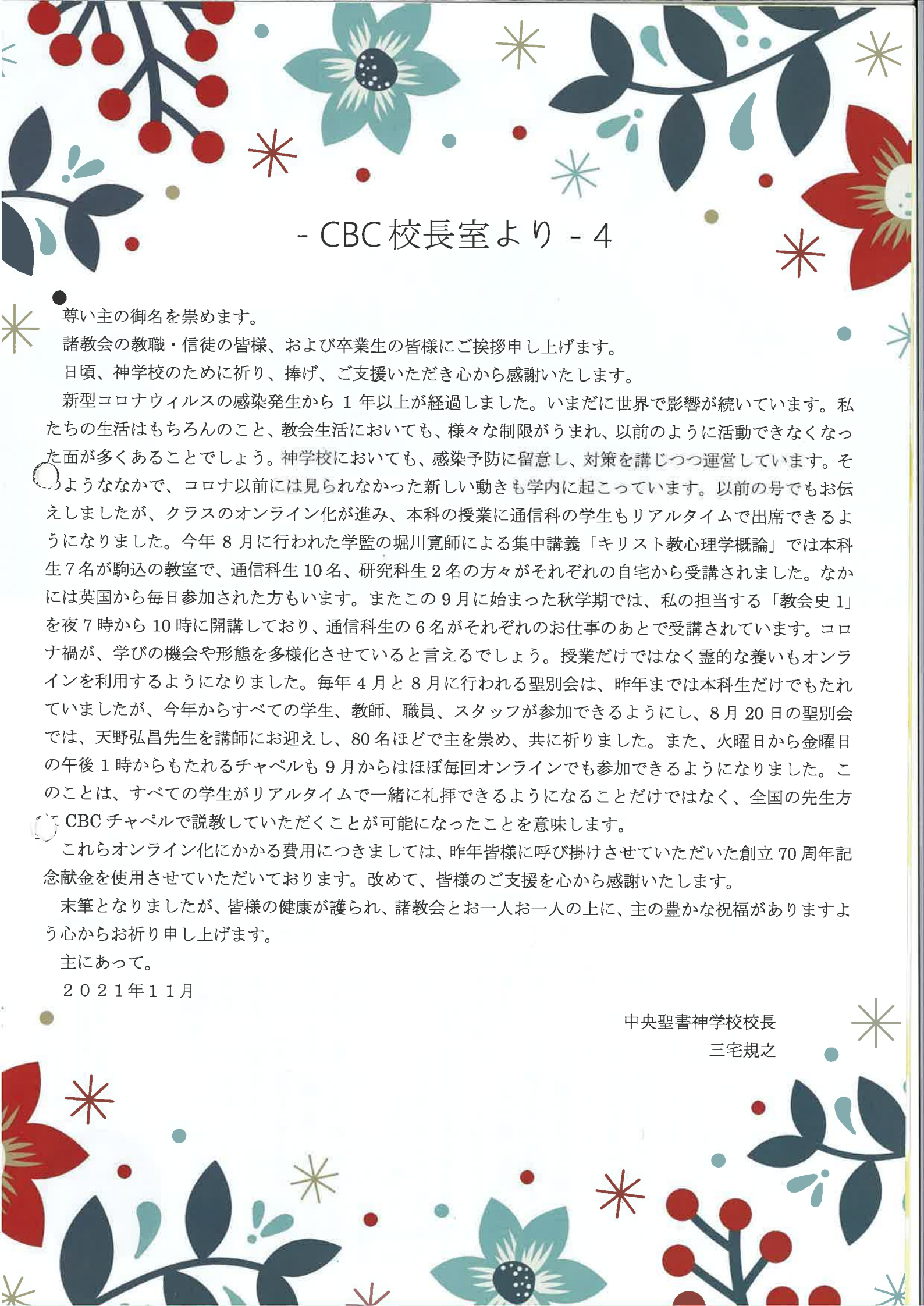
イエス様は今の日本の霊的状况を見てどのように思われているのでしょうか。イエス様は悲観的になられていません。ヨハネ四章三五節「目をあげて畑を見なさい。はや色づいて刈り入れを待っている」との御言葉を覚えます。

世界はコロナにより一変しました。ステイホームが提唱され、人と接しないことが求められ行動制限を課せられました。それによりネットという媒体を通じたコミュニケーションが世界の主流になりました。仕事を失い、毎日の生活に困窮し、精神は疲れ果て、未来に希望をもつことができず、若い方から

高齢の方迄の自死が後を絶ちません。また、コロナ感染の恐怖の中でその日をどのように生きていけばいいのだろうかと悩みながら死と隣り合わせです。しかし、「弱り果てて、倒れている人々をご覧になる」救い主が、「彼らを深くあわれまれ」るのです。神様御自身が立ち上がられるのです。多くの魂は「刈り入れを待つばかり」なのです。

「荒野で呼ばれる者の声がする、『主の道を備えよ。その道筋をまつすぐにせよ』」とマタイ三章三節にあるように、主の道を備えなければなりません。主はあなたを働き人として呼んでおられるのです。

収穫の主である聖霊様の声をすでに聴いておられる方がおられるはず。今こそ、立ち上がり一步を踏み出し、コロナという荒野で主が再び来られる道を備える者とならせていただきましょう。そして、もっと多くの働き人が起こされ遣わされるように祈り求めましょう。



- CBC 校長室より - 4

尊い主の御名を崇めます。

諸教会の教職・信徒の皆様、および卒業生の皆様にご挨拶申し上げます。

日頃、神学校のために祈り、捧げ、ご支援いただき心から感謝いたします。

新型コロナウイルスの感染発生から 1 年以上が経過しました。いまだに世界で影響が続いています。私たちの生活はもちろんのこと、教会生活においても、様々な制限が生まれ、以前のように活動できなくなった面が多くあることでしょう。神学校においても、感染予防に留意し、対策を講じつつ運営しています。そのようななかで、コロナ以前には見られなかった新しい動きも学内に起こっています。以前の号でもお伝えしましたが、クラスのオンライン化が進み、本科の授業に通信科の学生もリアルタイムで出席できるようになりました。今年 8 月に行われた学監の堀川寛師による集中講義「キリスト教心理学概論」では本科生 7 名が駒込の教室で、通信科生 10 名、研究科生 2 名の方々がそれぞれの自宅から受講されました。なかには英国から毎日参加された方もいます。またこの 9 月に始まった秋学期では、私の担当する「教会史 1」を夜 7 時から 10 時に開講しており、通信科生の 6 名がそれぞれのお仕事のあとで受講されています。コロナ禍が、学びの機会や形態を多様化させていると言えるでしょう。授業だけではなく霊的な養いもオンラインを利用するようになりました。毎年 4 月と 8 月に行われる聖別会は、昨年までは本科生だけでもたれていましたが、今年からすべての学生、教師、職員、スタッフが参加できるようにし、8 月 20 日の聖別会では、天野弘昌先生を講師にお迎えし、80 名ほどで主を崇め、共に祈りました。また、火曜日から金曜日の午後 1 時からもたれるチャペルも 9 月からはほぼ毎回オンラインでも参加できるようになりました。このことは、すべての学生がリアルタイムで一緒に礼拝できるようになることだけではなく、全国の先生方が CBC チャペルで説教していただくことが可能になったことを意味します。

これらオンライン化にかかる費用につきましては、昨年皆様に呼び掛けさせていただいた創立 70 周年記念献金を使用させていただいております。改めて、皆様のご支援を心から感謝いたします。

末筆となりましたが、皆様の健康が護られ、諸教会と一人一人の上に、主の豊かな祝福がありますよう心からお祈り申し上げます。

主にあって。

2021 年 11 月

中央聖書神学校校長
三宅規之

基礎課程 本科 Q&A コーナー

Q 神学校のイメージって変わった？

山崎：初めは、勉強や寮生活に慣れるか、不安でした。勉強では、先生たちが丁寧に教えてくれて、寮生活ではクラスメート、先輩達に恵まれ、充実した日々を過ごしています。

東：私は、神学校は「神学の本を読んで、読書と勉強をするだけ」だと思っていました。しかし、神学校では、兄弟姉妹と交わり、奉仕する事の喜びを、日々感じています。

二宮：先輩に絶対服従、規律の厳しいところだと思っていたけれど、アットホームで厳しすぎないところでした。

安本：もっとトラッドかと思いきや、爽やかな威厳に満ちたきよらかな場所なのに驚きました。

Q 神学校ここがいい

山崎：教会では学べないことをより深く学べる。チャペルの時間に色んな先生の説教を聞ける。

東：神学校は、教会の歴史を間近で知ることができる場所です。

二宮：社会で働く重荷がなく、日常の様々な心配事から解放されて、勉強ができる環境が整っているところ。

安本：TPO なく祈ったり聖書を語ったりできるところがいいなと思っています。

Q 本科で学ぶ良さ

山崎：寮生活をしながらクラスメートや、先生達と交わり、霊的にも人間的にも成長できる場所。

東：クラスメートとの交わり、彼らの証を聞くこと。そしていろいろな本もあること。

二宮：寮生活を通して学友と共に学び、先生にも直接指導してもらえることにより、様々な刺激があるところ。

安本：霊的な守りで暮らす中、自分や周りの変化や成長を見届ける事ができる事は何よりだなと思います。

Q 基礎科でどんなことを学ぶ？

山崎：聖書に対する見方や勉強も広く学ぶことができる。

東：基礎科を学んで聖書の基礎すら知らなかったと知りました。基礎を学ぶことで、私の聖書に対する見方がとても広がりました。ここで基礎を学ぶことをお勧めします。

二宮：ギリシャ語や英語など語学から、聖書の概論、伝道法、奨励法、心理学、教会教育など幅広い学びをします。自分はどの分野に向いているのか、神様はどのように召しておられるのか考える期間が与えられて感謝です。

安本：学問的には「そもそも聖書って…」の成り立ちから学べるのがありがたいです。私は信仰歴が浅く、聖書も1度くらいしか通読できていなかったのが不安でしたが、どうにかついていけています。





夏期派遣報告(地方教会)



中国教区巡回



夏期派遣は中国教区の巡回をさせていただきました。約1カ月で7つの教会を巡回することは、卒業を控えた私にとって、大きな恵み、そして励みとなりました。それぞれが、地域に寄り添った牧会をし、子どもに重きを置いている教会、地域に密着している教会、様々な人達を対象とした伝道など、教会によってアプローチは様々でした。しかし、共通していることは、「神様からの賜物と、召しに立つ」ということです。このことを忘れずに神様の働きを全うするとき、主は教会を祝福してくださるということを見ることができました。地方での伝道の難しさはありますが、各教会がさらに用いられ、祝福されるように祈り支えていきたいと思われ派遣となりました。

本科3年生 庭山 桃江

佐伯キリスト教会

「神様、私はこの教会で何をすれば良いでしょうか？」そのような祈りから始まった派遣でしたが、神様は、私に素晴らしい佐伯市に広がる素晴らしい空と海の美しさを見せて下さり、その中で、「小さな祈り」という1曲の賛美が頭に思い浮かびました。そして、その曲を佐伯で出会う方々の前で、賛美する機会が与えられ、わずか1か月という派遣期間でしたが、約20名近くの newcomer、求道者の方に福音を語り、証をする事ができ、洗礼決心者も与えられたことを感謝します。

小さな祈りに応え、大空のように包み込む、大きな恵みを与えてくださる主をこれからも宣べ伝えていきたいと思います。

本科3年生 平松 公平





夏期派遣報告(関東圏内)



真岡 キリスト 教会



私は今回母教会の真岡キリスト教会に派遣になりました。派遣でメインの奉仕は主日礼拝の司会奉仕と伝道クラクトを配布する奉仕でした。その中で、神様の恵みを受けたのは、伝道です。最初は、炎天下の中トラクト配布は大変で、訪問伝道したとき、キリスト教会の者だと挨拶ただけで断られる事がほとんどでした。しかし、一番重要なことは、イエス・キリストを通した神様の深い愛、この素晴らしい良いお知らせを伝えている事です。私たちは、福音を伝えていく者としての使命があります。この福音を伝えるという神様からの恵みを覚えて、一人でも多くの方が救われるように、主にあって励んでいきたいと思います。

本科1年生(基礎科)山崎ダシルバ・クレイトン

私は、今回の夏期派遣にて小岩栄光キリスト教会にほとんど泊まり込みの状態で行かせていただきました。主な奉仕としてはメッセージの奉仕、ろう者全国聖会、ろう者聖書学校の卒業式の配信の手伝いの奉仕です。今回の派遣で一番の訓練となったのは多くのメッセージの奉仕です。牧師として重要な奉仕であるメッセージの奉仕を今回の夏期派遣で訓練されたことは感謝でした。また、日曜礼拝のメッセージを語らせていただいた時にそのメッセージの内容が「福音を伝えよう」というものだったのですが、私がまずこのメッセージを語る前にもっと福音を伝えるものにならないといけないと神様から示されました。また、2日間は東京アーバンチャーチにて奉仕をさせていただきました。この夏期派遣の時を感謝いたします。

本科2年生 藤本 剛史

小岩栄光キリスト教会



通信科

「この半年の学びの感想」
基礎課程 村上正平（小岩栄光キリスト教会）

主の御名をほめたたえ賛美します。

いつも中央聖書神学校と神学生のためにお祈りくださり心から感謝致します。私は、今年4月に通信科の基礎課程に入学しました。入学し半年ほど経ちましたが、授業の度、毎回新しい発見があることは本当に楽しいです。普段は一人で勉強していますが、Zoomを用いてリアルタイムで行われるオンライン授業にも参加して、

多くの神学生と一緒に勉強しお互いに励まし合うことができました。また、授業の課題に取り組む中で、主により頼む時に自分の思いを超えて、主が働いて導かれる体験をして、学びをさらに深めることもできました。授業の他にも、神学校でおこなわれているチャペル（礼拝）を視聴できることは、私にとって大きな喜びです。私の妻は、今年3月に中央聖書神学校の教会献身者コースを卒業しました。主が共におられる中、勉強に励む妻の姿を見たことも、神学校へ入学したいという思いが与えられたきっかけの一つでした。今は、妻と学びや聖書のことを話し、奉仕について相談する時間も増えて、夫婦で主に仕えることができる恵みを感じています。これからも主にゆだねつつ、学びと訓練を通してさらに主に仕える者となっていきたいです。



慧眼な読者は、表紙の写真を見て「あれ？」と思ったことでしょう。本年度本科生9名の他に、もう1人、どこかで見た顔にお気づきになったでしょうか？ そうです！ 神学校発行の「祈りのリクエスト」でお祈り下さっている、通信科・伝道者コースの中山優美神学生です！ 主の導きで、通信科に在籍しながら入寮し、卒業までの半年間、本科生と生活を共にすることになりました。ディボーション、掃除、食事、奉仕、授業、伝道活動、日曜派遣と、本科生とほぼ同じ生活をしています。早くも溶け込み（？）、充実した楽しい神学校生活を送っています。お祈りに覚えて頂けたら幸いです。



10月から
入寮してい
ます！

通信科
伝道者コース
中山優美
（岩見沢神召キリスト教会）

ろう者神学校

主のみ名をたたえます。8月11日(水)、全国ろう者聖会において第6回卒業式が行われました。3月に2019年度の卒業式をCBCで合同で行いましたが、今回はいつものように全国ろう者聖会において、卒業式を行うことができました。いつもと違う点は、オンラインで行ったということです。初めての試みで、どうなることかと思っておりましたが、ネットで全国のろう者と、また卒業を祝福してくださる各地の先生方と繋がっての素晴らしい式となりました。2020年度の卒業生は大森たかみ神学生(四万十)と金井扶美代神学生(小岩)の2名でした。ろう者の魂の救いのために、ろう者の働き人をこのように増し加えてくださっております。日本には約35万人のろう者がいるとされています。すべてのろう者に福音を伝えるべく、卒業生たちが主にあってさらに整えられ、各々の地域で用いられるようにお祈りください。そして、2021年度の入学生はありませんでしたが、私たちは少しも気落ちなどしておりません。主はこの年、主に仕えるものの心を奮い立たせ、備えてくださっていると信じているからです。21年度は、オープンキャンパス(9月19日実施)や、特別集中講義などを行い、心備えをしております。どうぞ、覚えてお祈りください。今年はオリンピック、パラリンピックが開かれ、手話通訳が付くなど、これをきっかけに手話に興味を持たれた方もいるようです。ろう者の救いのためだけでなく、手話という言葉を通して、主は私たちの思いを超えて素晴らしい救いのわざを行われるのかもしれない。とにもかくにも主のわざに期待してわくわくしているろう者聖書学校です。



CBC オンラインフェスタ 2021

日時:11/23(火・祝)

信徒聖書学校■CBC 聖会■神学生と語ろう

※詳しくはホームページで

創立 70 周年記念献金のご報告

昨年中央聖書神学校は、創立 70 周年を機に、記念献金を呼びかけさせて頂きました。コロナ禍にも関わらず、総額 1,500 万円を超える献金が献げられました。CBC を愛し、支えてくださる多くの方々、諸教会の皆様への思いを改めて受け止め、学生、学校教師、職員一同、以下に感謝のご報告をさせて頂きます。

70 周年記念献金リスト(2021 年4月～9 月)

天塚基督教会 熊本聖書教会 姫路キリスト教会
平松百合子 船津正吉 山城圭子

収入の部		支出の部			
科目	金額	科目	予算	金額	予算比
献金	15,079,005	新規事業費	2,800,000	2,258,689	81%
利息	39	奨学金へ返済	1,300,000	1,293,900	100%
		キャンパン購入費	3,700,000	3,695,665	100%
		70周年記念事業費	300,000	230,722	77%
		特別広報費	3,000,000	631,898	21%
		諸設備整備費	2,300,000	1,822,538	79%
		事務費	50,000	66,299	133%
		その他(予備費)	1,629,044	0	0%
小計	15,079,044	小計	15,079,044	9,999,711	
		繰越金		5,079,333	
合計	15,079,044	合計	15,079,044	15,079,044	



献金・献品によるサポートを心から感謝します(2021 年4月～9 月)

ダビデの石奨学金献金

【団体】中央福音教会、武蔵野基督教会、尾崎基督教会、南紀キリスト教会、高知聖書教会、中村福音キリスト教会、佐伯聖書キリスト教会、本渡基督教会

【教団外】純福音松本恵み教会【個人】朝田美千世

一般献金

【団体】天塚教会 江戸川台キリスト教会 小川イエス福音教会 小矢部キリスト教会 女子聖学院中学高等学校 駿河キリスト教会 町田聖書教会 中央聖書教会 南紀キリスト教会 ふなど教会 元加治キリスト教会 牧場の朝キリスト伝道所

【個人】内村義宣 大江励 岡本純子 小田島幹彦 北澤成弘 近藤当三 酒井源次 須藤新之介 佐野一夫 谷口哲男 中原益子 中山雄・寛子 庭山耕慧 福森光敏・トシ子 松崎ミチ子 三宅規之 森下真理子 宮下鶴千代 山脇久治 吉山幸 ロハソン

マリヤ・クリニック奨学金、医療費助成金、お米 医療法人マリヤ・クリニック

献品(食品) 藤沢オリーブチャペル

献品(お米) 山崎ユリ

CBC NEWS

発行日 2021 年 11 月 1 日

発行 中央聖書神学校

〒170-0003 東京都豊島区 3-15-20

Tel 03-3918-4925 Fax 03-35-4064 E-mail:cbc@agj.or.jp

編集 広報部 発行責任者 荻野 倫夫 印刷所 (株)イロズリ

編集後記

今回のCBCニュースはいかがでしたか? CBCでは、ネット設備を充実させ、より良い発信ができるようになり、神学生の長期派遣など様々な活動ができました。これから、の為に様々な活動をしていき、その活動をCBCニュースを通して全国に発信していきたいと思っています。(広報部 山崎 クレイトン)